



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社セキュアヴェイル 上場取引所 東
 コード番号 3042 URL https://www.secuavail.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米今 政臣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部マネージャ (氏名) 工内 健太郎 TEL 06-6136-0026
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	964	13.4	52	26.4	52	25.3	49	101.0
2020年3月期第3四半期	851	27.5	41	431.7	42	954.8	24	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 49百万円 (99.9%) 2020年3月期第3四半期 24百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	13.02	—
2020年3月期第3四半期	7.28	7.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,458	1,093	75.0
2020年3月期	1,123	766	67.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,093百万円 2020年3月期 760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,322	11.1	55	△28.6	53	△32.1	31	△44.6	8.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社LogStare、除外 1社 （社名）－

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	3,845,000株	2020年3月期	3,382,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	224株	2020年3月期	224株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	3,802,754株	2020年3月期3Q	3,381,776株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提条件及びその他関連する事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、各種財政出動を下支えとして、経済活動を再開する、という動きのなかで、再び新規感染者の増大による経済活動の停滞、先行き不透明感の長期化が懸念されております。

このような状況下において当社グループは、社会のインフラとして継続性を維持するため、テレワーク、時差出勤の導入等、感染リスク低減を図りつつ、業務体制を維持してまいりました。

当社グループの主たるビジネスである情報セキュリティ業界では、新たな働き方となったテレワークや、企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)化への取組みによってクラウド化が進み、それに対する情報セキュリティ対策やログ管理がこれまで以上に重要となっており、堅調に推移しました。

以上の結果、経営成績としましては、売上高964,825千円(前年同期比13.4%増)、営業利益52,807千円(前年同期比26.4%増)となりました。経常利益は、子会社において繰上返済手数料を計上したものの、持分法による投資利益の計上があり52,704千円(前年同期比25.3%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法適用関連会社の第三者割当増資による持分変動利益13,673千円を特別利益に計上したこと等により49,510千円(前年同期比101.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(a) 情報システム事業

当セグメントの主たる事業である情報セキュリティにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大によって導入された、テレワーク、Web会議等の増加によるリモートアクセスの増加に対応した社内ネットワークのログ管理や、通信環境のクラウド化の進行により、主力であるネットワークの運用監視サービスが伸長しました。

これらの結果、売上高は870,227千円(前年同期比15.9%増)となりました。セグメント利益につきましては、知名度の上昇や、顧客層拡大を狙い、これまで大きく資金を投下してこなかったセールスプロモーション等のマーケティング費用により、112,170千円(前年同期比0.8%増)となりました。

(b) 人材派遣事業

人材派遣事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、新規顧客への営業活動が停滞していることにより、派遣人員が予定通りに増員できなかったことから、売上高は94,598千円(前年同期比5.5%減)となりました。セグメント利益は2,619千円(前年同期比65.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,214,800千円となり、前連結会計年度末に比べ288,326千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が305,641千円増加したことに対し、売掛金が31,638千円減少したことによるものであります。

固定資産は238,229千円となり、前連結会計年度末に比べ41,200千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が27,006千円、投資その他の資産が16,506千円それぞれ増加したことに対し、無形固定資産が2,312千円減少したことによるものであります。

繰延資産は5,327千円となりました。これは新たに子会社を設立したことによるものであります。

この結果、資産合計は1,458,357千円となり、前連結会計年度末に比べ334,855千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は291,886千円となり、前連結会計年度末に比べ16,388千円減少いたしました。これは主に、未払金が22,554千円増加したことに対し、前受金が23,801千円、買掛金が15,948千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は72,811千円となり、前連結会計年度末に比べ23,969千円増加いたしました。これは主に長期借入金が24,817千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は364,697千円となり、前連結会計年度末に比べ7,581千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,093,660千円となり、前連結会計年度末に比べ327,274千円増加いたしました。これは主に、資本金が141,909千円、資本剰余金が141,909千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は75.0%(前連結会計年度末は67.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月20日発表の「連結業績予想に関するお知らせ」から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	687,349	992,990
売掛金	188,589	156,951
仕掛品	4,063	6,165
原材料及び貯蔵品	294	294
前渡金	31,838	38,244
前払費用	13,278	17,003
その他	1,059	3,149
流動資産合計	926,473	1,214,800
固定資産		
有形固定資産	33,651	60,658
無形固定資産		
のれん	55,191	50,322
その他	266	2,823
無形固定資産合計	55,458	53,145
投資その他の資産	107,919	124,425
固定資産合計	197,028	238,229
繰延資産	—	5,327
資産合計	1,123,502	1,458,357
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,424	22,476
1年内返済予定の長期借入金	13,252	7,500
未払金	25,989	48,543
未払費用	40,768	49,607
未払法人税等	11,569	14,791
未払消費税等	31,046	26,524
前受金	119,732	95,931
預り金	4,534	13,216
賞与引当金	22,955	13,295
流動負債合計	308,274	291,886
固定負債		
長期借入金	15,683	40,500
長期末払金	5,000	—
退職給付に係る負債	20,133	23,333
資産除去債務	8,024	8,024
その他	—	952
固定負債合計	48,841	72,811
負債合計	357,115	364,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	485,670	627,580
資本剰余金	181,873	323,782
利益剰余金	91,917	141,428
自己株式	△123	△123
株主資本合計	759,338	1,092,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	829	992
その他の包括利益累計額合計	829	992
新株予約権	6,219	—
純資産合計	766,386	1,093,660
負債純資産合計	1,123,502	1,458,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	851,018	964,825
売上原価	526,998	569,701
売上総利益	324,020	395,123
販売費及び一般管理費	282,249	342,316
営業利益	41,770	52,807
営業外収益		
受取利息	90	82
受取配当金	5	6
持分法による投資利益	—	2,052
雑収入	759	1,573
営業外収益合計	855	3,715
営業外費用		
支払利息	568	575
繰上返済手数料	—	2,757
雑損失	0	485
営業外費用合計	569	3,817
経常利益	42,056	52,704
特別利益		
持分変動利益	—	13,673
新株予約権戻入益	—	200
特別利益合計	—	13,873
特別損失		
減損損失	7,139	—
投資有価証券評価損	—	64
特別損失合計	7,139	64
税金等調整前四半期純利益	34,916	66,513
法人税、住民税及び事業税	7,143	15,482
法人税等調整額	3,142	1,520
法人税等合計	10,285	17,002
四半期純利益	24,630	49,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,630	49,510

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	24,630	49,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	213	163
その他の包括利益合計	213	163
四半期包括利益	24,844	49,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,844	49,674
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の変更

第2四半期連結会計期間において、株式会社LogStareを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I. 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

新株予約権の行使による新株式発行

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ141,909千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が627,580千円、資本剰余金が323,782千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結財務諸 表計上額(注)2
	情報システム事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	750,864	100,154	851,018	—	851,018
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,814	2,814	△2,814	—
計	750,864	102,968	853,833	△2,814	851,018
セグメント利益	111,263	7,555	118,818	△77,048	41,770

(注)1 セグメント利益の調整額△77,048千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結財務諸 表計上額(注)2
	情報システム事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	870,227	94,598	964,825	—	964,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,234	1,234	△1,234	—
計	870,227	95,832	966,059	△1,234	964,825
セグメント利益	112,170	2,619	114,789	△61,982	52,807

(注)1 セグメント利益の調整額△61,982千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(子会社株式の譲渡)

当社は、2021年1月29日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社インサイト（以下「インサイト」といいます。）の全株式について、株式会社アステックコンサルティング（以下「アステックコンサルティング」といいます。）に譲渡することを決議し、2021年2月12日付で株式を譲渡いたしました。なお、本株式譲渡に伴い、インサイトは当社の連結の範囲から除外されます。

1. 株式譲渡の理由

当社は、2001年の創業以来、情報セキュリティ対策の専業事業者として、自社開発の情報セキュリティシステムである「NetStare[®]」によるネットワークの運用監視を事業の柱としてきました。2018年10月に当社の基幹システムの開発力増強を担うという位置付けで、受託システム開発を事業とするインサイトの株式を取得し、以来、業績は堅調に推移してきました。一方で2020年3月期以降のコロナ禍においては、当社グループ全体の持続的成長に向け、グループ内での業務の集約化を進めており、その事業集約の一環として、基幹システムの開発業務については、別の連結子会社である株式会社LogStare（2020年8月設立）に事業集約することといたしました。

そのような中で、今回、アステックコンサルティングと協議を行い、今後のインサイトの企業価値向上と事業成長のためには、当社が保有するインサイトの全株式をアステックコンサルティングへ譲渡することで、アステックコンサルティングが主とする製造業に特化したコンサルティング事業にインサイトの受託システム開発を合わせて、コンサルティング業務に限定されないシナジー効果を創出し、事業拡大を図ることが、最善の策であるとの判断に至りました。また、当社としても情報セキュリティ事業に集中し、利益率の高い企業体質にすることが今後企業価値を向上させることに繋がると考え、株式譲渡を決定いたしました。

2. 株式譲渡先の名称

株式会社アステックコンサルティング

3. 譲渡の時期

2021年2月12日

4. 当該子会社の名称、事業内容及び取引内容

名称	株式会社インサイト
事業内容	システム受託開発
当社との取引	該当事項はありません。

5. 譲渡する株式の数、譲渡価額及び譲渡後の所有株式の状況

譲渡株式数	820株
譲渡価額	当事者間の守秘義務により非開示
譲渡後の所有株式数	0株（議決権所有割合：0%）

6. 当該子会社が含まれていた報告セグメントの名称

情報システム事業